

科目名		病理形態学論文指導	
科目責任者		中山 敏 幸 (第2病理学 教授)	
開講時期:	3～4年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>病理形態学的手法により得られた結果を基に論文作成を行い、疾患の病理を総合的に理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究及び論文作成における倫理規定の基礎を理解する。 2) 疾患の病理学的解析に関するテーマを見出すことができる。 3) 病理病態解析における個々の方法の意義を見出すことができる。 4) 病理病態解析における個々の方法の問題点を見出すことができる。 5) 自分のテーマが病態機能の解明に果たす意義を見出すことができる。 6) 自分のテーマの意義を論理的に記述することができる。 7) 研究の対象および用いた実験方法を簡潔に記述することができる。 8) 解析結果を論理的に明瞭に記述することができる。 9) 得られた結果を統計学的手法を用いて適切に考察することができる。 10) 得られた結果を過去の研究結果との関連で考察し、記述することができる。 11) 得られた研究結果について今後の展望を記述することができる。 			
● 評価方法	学会・討論会における発表 (40%)、報告書または論文(60%)で総合評価する。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		